



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンチヨー  
コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 鈴木 一精  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 0545-57-0850  
平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,753	△2.4	279	876.4	137	—	82	—
27年3月期第2四半期	21,253	△7.6	28	△90.4	△73	—	△74	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 75百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.04	—
27年3月期第2四半期	△5.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	39,652	9,284	23.4	678.72
27年3月期	39,939	9,277	23.2	678.18

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,284百万円 27年3月期 9,277百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,230	1.8	580	106.1	300	249.4	180	—	13.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	13,714,995 株	27年3月期	13,714,995 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	35,743 株	27年3月期	34,805 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,679,837 株	27年3月期2Q	13,681,377 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢が総じて改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。

ホームセンター業界におきましては、消費税増税後の個人消費の回復が停滞していることに加え、異業種も含めた販売競争もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、品揃え・価格・陳列方法などの観点から各定番商品の見直しを行い、お客様のニーズにお応えできる魅力ある店づくりに努めました。また、ホームセンター専門店化への推進や地域に根ざした店舗運営を事業活動の主軸とし、お客様満足度向上に注力いたしました。

店舗の状況といたしましては、新規出店は「ハードストック」を1店舗、既存店の改装は「ジャンボエンチャー」を2店舗、「c a s a」を1店舗、「SWEN」を2店舗行いました。平成27年9月に行いました、静岡県藤枝市にある「ジャンボエンチャー藤枝店」の改装では、新たな取り組みとして園芸・農業資材館「グリーンストック」を新設いたしました。

しかしながら、長引く消費マインドの低迷や梅雨時や夏場の悪天候が影響し、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,753百万円(前年同期比97.6%)となりました。売上高は前年を下回ったものの、グループ丸となりコスト削減を推進した結果、営業利益は279百万円(同976.4%)、経常利益は137百万円(前年同期は73百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円(前年同期は74百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ286百万円減少し、39,652百万円となりました。

流動資産は13,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の増加54百万円、商品の減少244百万円によるものであります。固定資産は25,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の増加182百万円、建設仮勘定の減少208百万円、長期貸付金の減少51百万円、敷金及び保証金の減少29百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ293百万円減少し、30,368百万円となりました。

流動負債は16,323百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,906百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加457百万円、短期借入金の減少2,208百万円によるものであります。固定負債は14,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,612百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加1,891百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、9,284百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加14百万円、退職給付に係る調整累計額の減少8百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、23.4%(前連結会計年度末は23.2%)となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による収入1,097百万円、投資活動による支出199百万円、財務活動による支出842百万円の結果、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、1,886百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,097百万円(前年同期比925百万円の収入増)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益137百万円、減価償却費443百万円、たな卸資産の減少額233百万円、仕入債務の増加額436百万円、法人税等の還付額54百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、199百万円(前年同期比85百万円の支出増)となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出294百万円、敷金及び保証金の回収による収入30百万円、投資活動のその他の収入66百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、842百万円(前年同期比185百万円の支出増)となりました。この主な要因は長短借入金金の減少348百万円、社債の償還による支出169百万円、リース債務の返済による支出256百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月13日付け「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,115	2,170
受取手形及び売掛金	769	795
商品	10,450	10,206
仕掛品	25	30
貯蔵品	21	26
繰延税金資産	116	137
その他	608	623
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,107	13,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,578	7,761
土地	11,767	11,767
建設仮勘定	238	29
その他(純額)	1,238	1,211
有形固定資産合計	20,822	20,770
無形固定資産	89	89
投資その他の資産		
投資有価証券	591	595
長期貸付金	1,280	1,228
敷金及び保証金	2,205	2,175
繰延税金資産	312	289
その他	537	521
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	4,918	4,802
固定資産合計	25,831	25,662
資産合計	39,939	39,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,921	6,379
短期借入金	9,443	7,234
未払法人税等	25	80
その他	2,840	2,629
流動負債合計	18,230	16,323
固定負債		
社債	150	—
長期借入金	8,701	10,592
退職給付に係る負債	790	726
資産除去債務	375	395
その他	2,414	2,328
固定負債合計	12,431	14,044
負債合計	30,661	30,368

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,731	2,745
自己株式	△15	△15
株主資本合計	9,054	9,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143	145
退職給付に係る調整累計額	79	70
その他の包括利益累計額合計	223	216
純資産合計	9,277	9,284
負債純資産合計	39,939	39,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	21,253	20,753
売上原価	15,189	14,785
売上総利益	6,063	5,967
営業収入	594	598
営業総利益	6,658	6,565
販売費及び一般管理費	6,629	6,285
営業利益	28	279
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	7	8
保険解約返戻金	21	—
その他	36	28
営業外収益合計	79	49
営業外費用		
支払利息	126	113
シンジケートローン手数料	47	73
その他	7	5
営業外費用合計	181	191
経常利益又は経常損失(△)	△73	137
特別損失		
店舗閉鎖損失	20	—
特別損失合計	20	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△93	137
法人税、住民税及び事業税	21	50
法人税等調整額	△41	4
法人税等合計	△19	55
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74	82
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74	82



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	1
退職給付に係る調整額	△14	△8
その他の包括利益合計	25	△6
四半期包括利益	△48	75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48	75
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△93	137
減価償却費	447	443
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△57	△63
店舗閉鎖損失	20	—
受取利息及び受取配当金	△21	△21
支払利息	126	113
為替差損益(△は益)	△1	1
売上債権の増減額(△は増加)	296	△12
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196	233
仕入債務の増減額(△は減少)	△286	436
未払消費税等の増減額(△は減少)	210	△181
その他	△65	57
小計	376	1,144
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△122	△110
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△89	54
営業活動によるキャッシュ・フロー	172	1,097
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△208	△294
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△1
敷金及び保証金の回収による収入	37	30
その他	63	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△199
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△339	△516
長期借入れによる収入	1,000	3,397
長期借入金の返済による支出	△1,284	△3,230
社債の償還による支出	△171	△169
長期未払金の返済による支出	△326	—
セール・アンド・リースバックによる収入	1,001	—
リース債務の返済による支出	△468	△256
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△68	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657	△842
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△597	54
現金及び現金同等物の期首残高	2,369	1,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,772	1,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。